

2016年10月5日  
富士ソフト株式会社

**「第43回 国際福祉機器展 H.C.R.2016」出展のお知らせ**  
～介護現場で大人気！経産省や厚労省の事業で相次いで採択され、進化して来た  
コミュニケーションロボット「PALRO」をご体験いただけます。～

富士ソフト株式会社(本社:神奈川県横浜市、代表取締役 社長執行役員:坂下 智保)は、2016年10月12日(水)から14日(金)まで東京ビッグサイトで開催されるアジア最大規模の福祉機器総合展示会「第43回 国際福祉機器展 H.C.R. 2016」(以下、H.C.R. 2016)に、当社が開発した人工知能(AI)を搭載したコミュニケーションロボット「PALRO (パルロ)」(以下、パルロ)を出展することをお知らせします。

H.C.R. 2016 は、ハンドメイドの自助具から最先端技術を活用した福祉車両まで、世界の福祉機器を一堂に集めたアジア最大規模の総合展示会で、国内外の企業およそ530社が最新の福祉機器を出展します。

急速に進む高齢社会と、それに伴う介護人材の不足や業務負担の増加などの問題を解決する方法の1つとして、介護ロボットへの期待が高まるなか、パルロは全国の介護現場で頼れるパートナーとして導入が進んでいます。

パルロは、全国の高齢者福祉施設で「日常会話の話し相手」、「レクリエーションの司会進行役」、「健康体操のインストラクター」としてご活用いただいております。2016年9月末には導入台数600台に至りました。

開発当初から介護現場の様々なリクエストをいただきながら進化を続けているパルロは、導入頂いている施設から、高齢者の感情表現や行動に良い変化があった、介護現場の雰囲気が明るくなった、介護スタッフの負担が減った、などのお話を頂いております。

展示ブースの個別体験コーナーでは、パルロの人を気遣うコミュニケーションや実際の利用シーンをご体感いただけます。また、展示ブースのステージでは、パルロを導入いただいている高齢者福祉施設の方々を中心に、パルロの活用事例のご紹介やレクリエーション介護士によるパルロレクリエーションの体験会など、パルロの理解を深めるプログラムを用意してお待ちしております。



コミュニケーションロボット  
「PALRO(パルロ)」  
高齢者福祉施設向けモデルⅡ



FUJISOFT

【第43回 国際福祉機器展 H.C.R.2016 の概要】

- 名称： 第43回 国際福祉機器展 H.C.R.2016
- 会期： 2016年10月12日(水)～14日(金) 10:00～17:00
- 会場： 東京ビッグサイト 東展示ホール  
富士ソフトブース 東6ホール 6-16-04
- 入場料： 無料(登録制・事前もしくは当日)
- 主催： 全国社会福祉協議会、保健福祉広報協会
- URL： <https://www.hcr.or.jp/>



富士ソフトブースのイメージ図

【富士ソフトブースについて】

パルロ体験コーナー、レク介護士によるパルロレクリエーション  
体験会、パルロ導入施設様による事例紹介 他

【パルロの概要】

- 名称： コミュニケーションロボット「PALRO」(パルロ)
- サイズ： 高さ:約40cm、重さ:1.8kg
- 発売開始時期： 2010年3月 アカデミックモデル  
(大学などの研究機関向け)  
2012年6月 高齢者福祉施設向けモデル  
2015年12月 高齢者福祉施設向けモデルⅡ
- PALROの基本機能： 高度な人工知能を搭載した  
人型のコミュニケーションロボット。  
相手と向き合って「会話する」/自由に「歩く」/  
人の顔と名前を「覚える」/インターネットに「つながる」
- 企画、開発、製造、販売： 富士ソフト株式会社



高齢者福祉施設での  
レクリエーションの様子

【高齢者福祉施設向けモデルⅡの主な特徴】

■日常会話

天気・ニュース・健康情報などの役立つ情報からユーモア溢れる会話等、高齢者に楽しい会話を提供します。  
さらに100名以上の顔と名前を覚え、名前を呼びかけながら会話をします。

■レクリエーション

パルロが行うレクリエーションは、レクリエーション介護士が企画し、開発を監修しています。パルロは、司会進行を行い、うた、ダンス、クイズ、ゲーム、体操、落語、カメラマンまでたくさんの役割を担います。

■健康体操

パルロは、介護予防効果の高い10種類(2016年10月現在)の健康体操のインストラクターになります。  
高齢者福祉施設向けモデルⅡでは、介護予防効果を高めるために重要な動きである「ひじを回す」、「肩甲骨を動かす」機能を追加しました。これは、神奈川県「さがみロボット産業特区」にて、医療法人社団 清心会 藤沢病院、公益財団法人 日本股関節研究振興財団などの多くの医療機関・研究機関のご協力を得て行われた検証の成果の一つです。

<ご参考>

「PALRO(パルロ)」を用いた運動指導プログラムの社会実装に向けた取組みについて

2014年10月2日に藤沢市と当社が締結した「介護予防等事業における連携に関する協定」に基づいて、2015年度、当社は神奈川県藤沢市のご協力のもと、医療法人社団清心会 藤沢病院と共同で、パルロを用いた運動指導プログラムの社会実装に向けたビジネス実証の結果、将来の医療費・社会保障費の行政コスト削減に繋がる地域在住高齢者の認知症発症予防・遅延の効果を確認しております。

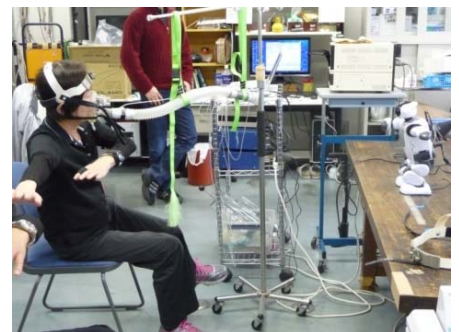
これは、かながわ未病産業創出推進コンソーシアム(地域版協議会)<sup>※1</sup>による「健康寿命延伸を目的とした未病産業創出推進事業」として、経済産業省「平成27年度健康寿命延伸産業創出推進事業(地域ヘルスケアビジネス創出支援)」<sup>※3</sup>に採択され、検証されたものです。

現在、この実証事業で得た成果を基に自治体における介護予防・日常生活支援総合事業への適用等社会実装に向けた継続的な取り組みを行っております。

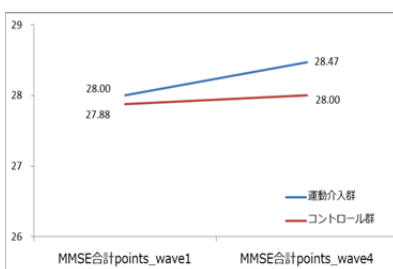
【背景と目的】

現在の超高齢社会への突入は、日本全体のみならず、先進諸国が今後抱える共通の課題であり、高齢者の健康寿命と平均寿命のギャップの解消(健康寿命延伸)が必要不可欠となっています。

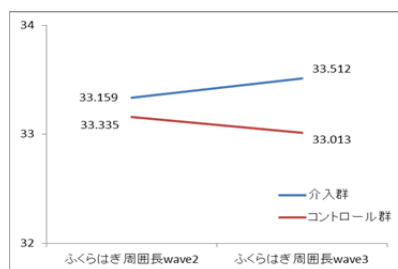
当社は2014年度、パルロを用いて高齢者の体力・脳・心の健康の維持改善を目的とした運動指導プログラムを開発し、実証実験を行いました。実験では、認知症発症予防・遅延や下肢機能の改善の効果が期待される有効なエビデンスが得られております。



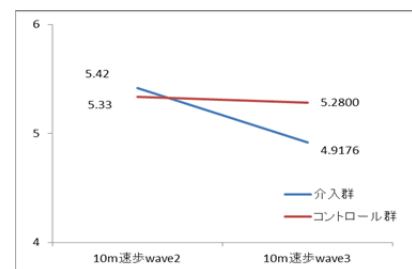
運動指導プログラムの開発・実証の様子



認知機能検査(MMSE)の変化



ふくらはぎ周囲長の変化



10m歩行速度の変化



FUJISOFT

【ビジネス実証の概要】

■名称： パルロによる介護予防ビジネスの実証事業

■内容： ①パルロが行う運動教室(パルロサイズ)の事業化検討

前年度に得られた有効なエビデンスに基づく運動指導プログラムを搭載したパルロが行う運動教室の事業化に向けた調査研究を実施。

②介護予防ビジネスの基盤整備

医療費・社会保障費などの行政コスト削減や導入事業者の業務適正化など経済効果の中間指標として、ニーズやコストに関する市場調査や高齢者の身体及び認知機能、心理面に及ぼす効果測定を実施。

■期間： 2015年8月～2016年2月

■場所： 医療法人社団清心会 藤沢病院

■協力者： 医療法人社団清心会 藤沢病院、京都大学大学院 人間・環境学研究科 応用生理学教室、東京都健康長寿医療センター研究所 研究員 谷口 優、藤沢市保健医療部健康増進課



運動教室の様子

【検証結果】

参加者募集の講演会にご参加いただいた藤沢市内の地域在住高齢者 100名弱から 20人を選出し、6カ月間の運動教室を有償(月額 2千円)にて開催し、効果検証を行った結果、医療費・社会保障費の行政コスト削減に繋がる地域在住高齢者の認知症発症予防・遅延の効果を確認でき、実証後のアンケート調査では、利用者の負担額の妥当性・受容性についても確認できました。

また地域高齢者人材の再雇用(社会参加の支援)、地域コミュニティの形成(市民交流の促進)が期待できます。



参加者募集の講演会の様子

- ※1 かながわ未病産業創出推進コンソーシアムは、富士ソフト株式会社を含む神奈川県未病産業研究会<sup>※2</sup>の会員法人を主体とした共同事業体で、未病産業の新規創出・拡大を目指しています。
- ※2 神奈川県未病産業研究会は、地域資源を活用したヘルスケア産業の育成を図るための地域版「次世代ヘルスケア産業協議会」です。心身全体の状態を最適化する「未病を治す」という考え方に関連した、神奈川県発の新産業「未病産業」の創出するため、モデル事業などを実施します。誰もが健康で長生きできる社会を目指す神奈川県の新たなプロジェクトの神奈川県ヘルスケア・ニューフロンティア推進局が事務局を務めており、神奈川県未病産業研究会には企業や法人など 397 団体(2016年8月31日現在)が会員登録しています。
- ※3 経済産業省「平成 27 年度健康寿命延伸産業創出推進事業」は、公的保険外サービス創出に向けた実証事業を実施し、成功事例の全国普及を促進することにより、健康寿命延伸産業のさらなる振興を図ることを目的としています。本年度は 27 件(応募総数 61 件)が採択されました。

以上

この件に関するお問い合わせ

■ニュースリリースについて  
コーポレートコミュニケーション部  
担当/久下・西元  
〒101-0022 東京都千代田区神田練堀町 3  
TEL: 03-5209-5910  
FAX: 03-5209-6085  
E-MAIL: mkoho@fsi.co.jp

■PALRO について  
パルロセンター  
TEL: 045-285-0215  
E-MAIL: palro-center@fsi.co.jp